

前回までのご意見のまとめ

○トレーナー像について

- ⇒ ・人材育成や研修実施を通し、地域防災力向上の担い手になれる人
- ・国等の防災機関とネットワーク構築する人材を、育成できる人
- ⇒地域研修の中心になれる (地域検討会での議論、研修の講師・司会)

○受講資格者像

- ⇒立候補か推薦か
- ⇒有明の丘研修の受講経験だけでない条件を加えるか

○評価方法

- ⇒実績、テストを交えた客観的な方法を議論してはどうか

○研修方法

- ⇒防災の考えやコーディネートに関する道場的な研修はどうか

○仕組み

- ⇒地域防災マネージャーをトレーナーにする仕組みはどうか
- ⇒トレーナーチームの仕組みを議論してはどうか



具体的な案で検討する

トレーナートレーニングについて

- 第三期の防災SP研修に向けて地域の自立を促していく
- 研修内容、評価方法はWGを設置し、議論してはどうか

トレーナー育成（案1）

受講資格

- 地域防災マネージャー：**
防災活動全般のマネジメントを実施可能
- 有明の丘研修を9コース修了済
 - 国の機関の課長補佐以上の職位
 - 防災行政経験(5年以上)

+

トレーナートレーニング

- 人材育成の心構え、標準化や応援受援の考え方、研修の技量を道場的に磨く**
- 防災哲学
 - 研修コーディネートの方法論
 - 研修コーディネート実習
- ※トレーナーとしての技量評価手法は要検討

トレーナー育成（案2）

受講資格

- 有明の丘・被災者支援コースの修了者：**
被災者支援の活動を実施可能
- 職位は問わない
 - 防災行政経験は問わない

+

トレーナートレーニング

- 研修の技量を道場的に磨く**
- 研修コーディネートの方法論
 - 研修コーディネート実習
- ※トレーナーとしての技量評価手法は要検討

トレーナー育成（案3）

受講資格

- 防災SP養成eラーニングの学習者：**
6テーマの実施手順を理解している
- 職位は問わない
 - 防災行政経験は問わない

+

トレーナートレーニング

- 研修の技量を道場的に磨く**
- 研修コーディネートの方法論
 - 研修コーディネート実習
- ※トレーナーとしての技量評価手法は要検討